

「選択肢の過剰」

行動経済学の本にも書かれていますが人間は選択肢が多すぎると選べなくなると言われています。人間の行動特性で「松竹梅」の3段階あると真ん中の「竹」を選びやすい、選択肢がありすぎると逆に購買をやめることが多いといわれています。

それでもコンビニのおにぎりやジェラード屋など、20種類、30種類と並べられていますよね。消費者は30種類から一つを選んではいません。瞬間的に頭の中で3つ程度に候補を絞って選んでいます。おそらくその時に候補にならなかった商品が気になってリピートしてくれることを狙っているのではないかと推察しています。何より色とりどりの商品が陳列棚いっぱいに並んでいると心が浮き立ちますよね。また来たくなるのではないのでしょうか。

日々ものすごい数の選択をしています。日常は選択の繰り返しなのですが、選択肢が多いと疲れてしまうこともあります。スティーブジョブズが毎日黒色のタートルだけを着ていた話は有名です。彼は朝に「洋服の選択」という作業の無駄を省いていました。

制服を着るというのも忙しい朝に無駄な選択を省く効果があります。私服で登校や出勤をしたい人もいるかもしれませんが、制服が楽でいいという人も少なからずいると思います。私も確実に後者です。朝の服装選びは毎朝3秒くらいです。

ある有名人が出かける時の自分の服装を写真に撮って、同じ場所に出かけるときに絶対に同じ服装にならないようにすると言っていました。それを徹底することはすごいと思いますが個人的には真似をしたいとは思いません。相手が自分の服装を覚えているとは思いませんし、その労力と時間は別のことに使えるような気がします。ただあくまで私見なのでそれをする人を否定するつもりはありませんが。

私はコンビニでもレストランでも選んだり迷ったりすることが嫌いなので、この店ではこれを食べるというのがほぼ決まっています。コンビニで買う朝食は9割ツナマヨおにぎりや玉子のサンドウィッチ。あるとき玉子サンドウィッチが1.5倍に増量されていて、おにぎりを食べられないときがありました。そのときは迷ってしまって困りました。

コンビニでもスーパーでも一定時間を経過すると食品は廃棄されます。もちろんAIなどで余剰が出ないように計算はしているのですが、完全には無理だと思います。それを考えるとあそこまで選択肢を増やすのはどうなのかなと思ってしまいます。

信号は3色で選択肢が少なく、青や赤で迷うことはありません。人間はそのくらいがわかりやすくていいのかなと思います。